

木質材料実験棟全国共同利用研究報告会

司会:北守 顕久(京都大学生存圏研究所)

- 10:30 開会挨拶 金山 公三(京都大学生存圏研究所)
- 10:35-10:50 上津屋橋の維持管理を元にしたこれからの木橋の耐久設計に関する検討
- 28WM-06 渡辺 浩(福岡大学工学部)
- 10:50-11:05 曲げ降伏型接合具を用いたCLT接合部の引張実験 -最大荷重に接合具間隔が与える影響-
- 28WM-09 中島昌一(宇都宮大学大学院工学研究科)
- 11:05-11:20 イオン液体を用いた木材処理技術に関する基礎研究
- 28WM-15 宮藤 久士(京都府立大学大学院生命環境科学研究科)
- 11:20-11:35 京都府産木材の有効活用に関する研究
- 28WM-04 明石浩和(京都府農林水産技術センター)
- 11:35-11:50 広葉樹細胞壁の熱処理による微細構造の変化
- 28WM-11 村田功二(京都大学大学院農学研究科)

昼食(11:50-13:30)

司会:畑 俊充(京都大学生存圏研究所)

- 13:30-13:45 木質起源物質の微細形態・構造化と炭素変換
- 28WM-03 木島正志(筑波大学大学院数理物質科学研究科)
- 13:45-14:00 住宅床下における銅板等の劣化抑制効果の検証
- 28WM-07 栗崎 宏(富山県農林水産総合技術センター木材研究所)
- 14:00-14:15 テープ状制振素材又は塗布状制振素材による木造制振耐力壁の効果に関する研究
- 28WM-10 柳原直也(日本工業大学工学部)
- 14:15-14:30 廃シリコンスラッジを用いたシリサイド系熱電材料の作製
- 28WM-16 北川裕之(島根大学総合理工学部)

休憩(15分)

司会:森 拓郎(京都大学生存圏研究所)

- 14:45-15:00 セルローズ炭素複合材料の多孔質構造解析と微細空間の制御および電気二重層キャパシタへの応用
- 28WM-01 大澤幸造(長野工業高等専門学校)
- 15:00-15:15 CLT(Cross laminated timber)を用いた中・大規模木造建築物の開発
- 28WM-05 中谷 誠(宮崎県木材利用技術センター)
- 15:15-15:30 住宅における雨水浸入を想定した木材腐朽菌の定着及び進行速度の検討
- 28WM-13 齋藤宏昭(足利工業大学工学部)
- 15:30-15:45 ビスを用いた木質材料-金属材料接合部のせん断性能
- 28WM-14 松田昌洋(信州大学工学部)

休憩(15分)

司会:中谷 誠(宮崎県木材利用技術センター)

- 16:00-16:15 住宅床下への木材劣化生物の侵入生態の把握とその予防に関する基礎的検討
- 28WM-02 築瀬佳之(京都大学大学院農学研究科)
- 16:15-16:30 木口挿入型接合具を用いた木材接合部の変形性能確保方法の検討
- 28WM-12 田中 圭(大分大学工学部)
- 16:30-16:45 熱硬化フェノール樹脂炭素化物と木質炭素化物の複合化によるCO₂吸蔵能の向上
- 28WM-08 畑 俊充(京都大学生存圏研究所)
- 16:45 総括 五十田 博(京都大学生存圏研究所:共同利用木質材料実験棟委員長)
- 17:00 討論会(発表者などとの意見交換会) 2000円

2016年3月14日(火)
 京都大学生存圏研究所
 木質ホール3F
 (宇治キャンパス)
 参加費無料

連絡先: 京都大学生存圏研究所
 生活圏構造機能分野 森 拓郎
 Tel: 0774-38-3676
 E-mail: moritakuro@rish.kyoto-u.ac.jp